

# みんなで取り組もう

“男女共同参画”を生活や働き方に関わる身近なものとしてとらえ、一人ひとりが意識をもって行動し、男女共同参画社会の実現に向けて、みんなで力を合わせて取り組んでいきましょう。

## プランがめざす社会

## 市の重点取り組み

1 性別にとらわれない  
自分らしい生き方

5 暴力の根絶

2 仕事と家庭の両立  
(ワーク・ライフ・バランス)



性別や年齢、国籍などにかかわらず、誰もが一人ひとりの能力を発揮し、生き生きと暮らすことができる社会をめざしているんだね。



4 誰もが  
安心して暮らせるまち

3 男女がともに  
活躍できる職場

「男性は仕事」「女性は家庭」といった固定的な性別役割分担意識の解消

家庭、地域、職場など様々な場面やケースに応じたわかりやすい啓発をおこないます。

政策・方針決定過程への女性の参画拡大

審議会などにおける女性委員の割合40%をめざします。事業所への働きかけをおこないます。

男性に向けた男女共同参画推進の支援

男性向けの家事・育児・介護に関する講座を実施します。男性の地域への参加・参画を進めるため、男性のネットワークづくりを支援します。

子どもにとっての男女共同参画

教育現場に携わる者への研修をおこないます。保護者や子ども向けの啓発や学習機会を提供します。

ものづくりの分野への女性の参入の促進

好事例を紹介し、女性のチャレンジ意識の高揚を促します。子どもの頃からものづくりに触れる機会をつくります。

女性に対するあらゆる暴力の根絶

DV相談窓口一覧カードを作成・配布します。各種関係機関との連携・協力体制を強化します。

市のホームページから  
プランの詳細を見ることができるよ。

<http://www.city.higashiosaka.osaka.jp/060/060030/plan/plan1.html>



## もっと知りたい Q & A

Q1 このプランは何年間の計画なの?

A1 平成23年度(2011年度)から平成32年度(2020年度)までの10年間です。

Q2 どうやってプランは作られたの?

A2 市民の皆さんにアンケートや市民フォーラムを実施し、実際の声を計画に取り入れています。くわしくは、右の「別紙資料」を見てね。

Q3 計画の愛称は誰がどんな思いを込めて考えたの?

A3 「東大阪 みらい<sup>はびたき</sup>翔羽プラン」という愛称は、市民の公募から決定しました。池畑静江さんの応募作品で、「男女の垣根を越えて、人間として未来を一緒に考えて行きましょう」という思いが込められています。

## 別紙資料 プランが作られるまでの主な道のり

“男女共同参画市民意識調査”を実施  
(平成21年9月～10月)

「男女の地位に関する意識」や「日常生活の子育て」などについて、市民の皆さんの意識と実態を調査しました。

男女共同参画審議会が“市民フォーラム”を実施  
(平成22年8月)

グループ形式で、市民の皆さんが日頃感じている率直な意見をお聞きしました。

<意見の一部>

男女共同参画センター・イコラームをもっとたくさんの人に活用してもらいたい。

男女共同参画を偏った活動だと思っている人がいるので、正しく啓発しなければならない。



男女共同参画審議会から市長へ提言書を提出  
(平成22年10月)

平成21年度から新プラン策定に向けて議論を重ねてきた男女共同参画審議会から提言書が提出されました。市民フォーラムで頂いた市民の皆さんの意見も反映されています。



庁内関係各課へのヒアリング

新プランを掲げる施策に関係のある課へヒアリングを行い、各課の事業状況や今後の取り組みについて聞き取りをおこないました。